

『世界に誇れる水際線』のまちづくりが始動！ 「水際線まちづくりコンセプトプラン」を策定しました！

横浜市では、臨港パークから山下公園までの約5kmの水際線エリアにおいて、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、道路・公園等の公共空間を活用したにぎわいづくりなど、魅力を高めるまちづくりを進めることで、世界から多くの人々が訪れる水際線（YOKOHAMA HARBORFRONT）の実現を目指しています。



【コンセプトプラン表紙】

このたび、市民の皆様からのご意見も踏まえて、令和11（2029）年度を目標とするまちづくりの進め方や、整備の方向性等をまとめた「水際線まちづくりコンセプトプラン」を策定しました。

市民や事業者の皆様とともに『世界に誇れる水際線』をつくりあげていきます。

整備イメージ（抜粋）



※パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。

【裏面あり】



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



水際線まちづくりコンセプトプラン対象範囲

本プランでは、臨港パークから山下公園に至る約5kmの水際線と横浜駅周辺やみなとみらい、関内・関外などの各地区、水際線と主要な鉄道駅等をつなぐ軸線【キング軸、クイーン軸、にぎわいと緑の軸線（日本大通り、みなと大通り、大通り公園）など】を対象としています。



画像 ©2025 Google、地図データ ©2025

市民意見募集を踏まえて反映した主な内容

水際線エリア全体でのまちづくりの視点として、以下の内容を追加しました。

エリア全体でのまちづくりの視点

1 環境への配慮や気候変動への対応

<ご意見の内容> 環境への配慮、酷暑対策

- ・水際線上に彩りや豊かさを生み出す新たな緑を創出
- ・再生材の活用や LED 照明の設置などによる環境負荷の軽減
- ・木陰の創出や遮熱性の舗装材の活用による酷暑対策など、昨今の気候変動に対応

2 人に優しい快適な環境づくり

<ご意見の内容> 移動手段の充実、誰もが楽しみやすい空間の創出

- ・多彩なモビリティにより、誰もが水際線を楽しみながら安心して移動できる環境づくり
- ・案内サインの多言語化や歩きやすい歩行者空間の整備など、ユニバーサルデザインに配慮
- ・誰もが気軽に飲食や休憩ができる施設の整備など、快適に滞在できる環境整備

3 海辺を活用したにぎわいづくり

<ご意見の内容> 海辺の活用、子どもが体験学習できる場の創出

- ・きれいな海づくりを推進するとともに、子どもたちが水に触れ合う体験や、海の生物について学べる機会を創出
- ・海辺空間を活用したイベントの実施や、水上アクティビティ・飲食の充実などによるにぎわいづくり
- ・水上交通で回遊性を高める取組を推進するとともに、朝や夜のコンテンツの充実

策定したコンセプトプランや市民意見募集についてはこちら

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/toshin/suisaisen/conceptplan.html>



お問合せ先

都市整備局臨海部活性化推進課担当課長 芹澤 功悦 Tel 045-671-4861



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

